

電話の向こうにあなたの笑顔が見える……



山形いのちの電話

広報73号

2026.6.25

yamagata

聴く

寄り添う

つながる

「山形いのちの電話後援会」会長就任のごあいさつ

山形いのちの電話 理事・後援会会長
株本間利雄設計事務所代表取締役

本 間 弘



このたび「山形いのちの電話後援会」会長に就任させていただきました 本間 弘と申します。前任の井上弓子さんから引き継ぎさせていただきました。2019年から法人の理事を務めさせていただいております。

初代後援会会長の本間利雄は2018年に天に召されましたが、「設立20周年記念誌」に「弱い糸と強い糸がうまく組み合わせられ美しく強くなる。経済と文化とよく云われる。経済といのち、人生の豊かさとも考えられる。建築も強く美しく」と寄稿しております。在任中は歴代理事長はじめ法人と後援会の皆様には長きにわたりましてお支えをいただきました。この誌面をお借りいたしまして心より感謝を申し上げます。

「山形いのちの電話」は多くの皆様の善意で支えていただいております。後援会はその活動を支援するために企業や個人の方々からご賛同をいただき、さらにこれからを見据えて持続可能な活動の輪を拓ける役割を託されております。

今年の9月26日（土）には遊学館ホールにて3年ぶりとなる「チャリティーコンサート～こころ奏でるハーモニー」が開催されることとなりました。ソプラノに高橋まり子さん・齊藤智子さん、テノールに高橋 寛さん、チェロの増川大輔さん、ピアノは須藤美恵子さんという豪華で素敵な歌手と演奏家の方々です。皆様へのご案内のリーフレットは三浦孝太郎さんの「旅のスケッチから」でチェコの赤い屋根が重なる牧歌的な景観の絵画をご提供いただきました。

多くの皆様とともに素敵なひとときをご一緒させていただきたく、ご友人やお仲間の方々をぜひともお誘いあわせいただきたくお願い申し上げます。

「山形いのちの電話後援会」の活動に親子二代で携わらせていただけることのよこびを感じながら、多くの皆様とともに「こころの輪」を大切にしながら拓け続けることができますようにはなはだ微力ではありますが精一杯つとめさせていただきます。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

電話相談

しみじみ
023-645-4343

年中無休 13:00～22:00

自殺予防
フリーダイヤル

なやみ こころ
0120-783-556

通話料 毎日 16:00～21:00
無料 毎月10日24時間受付 8:00～翌日8:00



事務局長新任あいさつ

山形いのちの電話 常務理事兼事務局長
伊 藤 利 彦

本年4月1日より山形いのちの電話の事務局長を務めております、伊藤利彦と申します。

山形いのちの電話では、多くの相談員の皆様により、悩みや苦しみを抱えて生きる力を失いかけておられる方々に、再び生きる力を取り戻して頂く事を願い電話相談活動を続けております。私はこの電話相談活動は相談者を支えることはもちろん、相談員の方々にも多くの気づきを与え、人との繋がりとおの成長を実感させてくれる意義深い活動であると感じております。多くの相談員の方々が誠実で素直な気持ちで相談者に寄り添い、お互いにこころが通いあったとき「相談員をやって良かった」と話してください。このように電話相談活動は相談者、相談員双方にとって、とても有益で貴重なものです。

私もこのような貴重な活動を支えていけることに、やりがいを感じるとともに、与えられた使命の重さを感じております。

山形いのちの電話では、このような電話相談活動を安定して続けていくための相談員の方々の人員不足も課題の一つとなっております。ぜひ多くの皆様に相談員として活動に参加していただくよう、相談員への応募を心より願っております。

また、この電話相談活動は多くの皆様からの善意の寄付によって支えられており、いつも本当にありがとうございます。今後ともかわらず多くの皆様より、お支えいただきたく存じます。

山形いのちの電話は現在開局32年目となり、昨年は社会貢献活動を通じた保健衛生および関連する福祉等の分野において、功績の向上に寄与した活動に対して贈られる「保健文化賞」、および山形県精神保健福祉功労者表彰である「作田賞」を受賞しました。これは皆様からのご支援とこれまで多くの相談員の方々、ご指導いただいた先生方が築いてきた活動の成果であります。

このように歴史と実績のある「山形いのちの電話」の活動が今後ますます発展していけるように全力を尽くしていきたいと思っております。今後とも皆様方のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

公開講座「答えのない時間に寄り添うということ」

～参加して感じたこと～

- 答えを求めすぎている社会にいることに気づくきっかけになった
- 不確かなことも人生の中で大切なのだと気づいた
- 1人より2人、2人より3人・・・答えは広がっていく
- 「システムよりも根っこが大事」ということが印象に残った
- 人と人との関わり・・・対話の大切さを再認識できた
- 他者を通して自分を知るといふ、対話の力について知ることができた
- 「解決」ではなく「対話」
- オープンダイアログという対話のことができて良かった
- 先生の圧倒的な柔らかさ、優しさ、（受け入れられている、聞いてもらえている）安心感
- 相手の心や言いたいことを優先する、対話
- 答えは誰も持っていない、それぞれが対話を重ねて見つけていくものなのか
- 答えをすぐに出したいと焦ったり、自分の考えを相手に押し付けたりしてしまいがちですが、相手にも考えや答えがあるのだということに気が付いた
- 共有して共に考えていく姿勢
- 答えのないことに向き合うことの難しさを改めて感じつつ、ただただ聴くこと
- 人の心は動き続けているからこそ「答え」も変化し続けるのではないかと感じた
- 答えを出す必要はなく、（答えのない時間に寄り添う）一緒に考えていくという姿勢が大事



講師 森川すいめい氏
撮影：鈴木江美子



後援会会長を退任するにあたり

前後援会会長

井上弓子

この度後援会会長を退任することになりました。思い返せば2019年長谷川理事長よりご指名を受け就任してから七年間、皆さんに支えて頂きながらなんとか務めを果たすことができました。心から感謝申し上げます。

コロナ感染拡大直前の2020年1月に開催し、そしてコロナが収束していない状況で2023年3月に開催したチャリティーコンサートでは、大勢の方々にご来場頂いたお陰でチケットの売り上げの一部を寄付することができました。又2024年10月には開局30周年記念講演として渡辺えりさんにご講演を頂きました。

このような後援会の活動も献身的に働いて下さるボランティアさんがいたからで、金銭的に支えて下さる皆様、実働で支えて下さる相談員さんを始めとする皆様がいらして初めて成り立つ「山形いのちの電話」です。皆様今後とも「山形いのちの電話」をどうぞよろしくお願い致します。



退任するにあたり

前常務理事兼事務局長

永澤 孝

このたび、常務理事兼事務局長を退任させていただきました。縁あってお引き受けした職務でしたが、いつの間にか7年が経過しました。着任当初は不安でしたが、役員の皆様や運営に実績をお持ちの先輩方から「大丈夫、みんなが協力してくれますよ」と励まされました。暗中模索のスタート時は、その言葉を頼りに相談員の皆様や事務局仲間やあれこれ指導をいただき過ぎました。電話相談という未知の世界で何とか仕事できたのは、皆様のご協力の賜と深く感謝しています。おかげさまで、生きがいを感じ、楽しく過ごすことができました。

しかし、いつものんびりできたわけでもありません。「これは事務局長のあなたの責任で対応すべきことですよ」とやんわりとプレッシャーを受けたことも度々ありました。いのちの電話と私の役割を思えば、当然のことでした。

あれもこれも、皆様のご協力をいただき楽しく仕事できたこと、多くの皆様のご支援を得て大過なく過ごせたことは、有意義でかけがえのない経験になりました。

皆様、本当にありがとうございました。山形いのちの電話をこれからもよろしくお願い致します。

事務局日誌 (2025.6~2026.5)

6月7日 LL学習会・アンカフェ	16日 ボランティアリーダー会
10日 自殺予防いのちの電話	25日 事務局会議
12日 広報委員会	28日 LL学習会
17日 研修委員会	1月10日 自殺予防いのちの電話
21日 総会(連盟)	17日 男性相談研修会
26日 運営会議	合同研修委員会
30日 天童高校特別授業	21日 運営会議
官民連携プラットフォームイベント(山形県)	28日 山形新聞一面広告
7月1日 事務局会議	29日 事務局会議
2日 ボランティアリーダー会	31日 相談委員会
3日 広報委員会	2月3日 研修委員会
10日 自殺予防いのちの電話	10日 自殺予防いのちの電話
15日 後援会総会	プラットフォーム会議(山形県)
19日 広報委員会	14日 拡大運営委員会
全体研修会	18日 孤立・孤独対策会議(山形県)
29日 事務局会議	20日 一般指導監査(山形県)
30日 自殺対策協議会(山形市)	21日 相談委員会
8月10日 自殺予防いのちの電話	24日 事務局会議
19日 研修委員会	27日 広報委員会
26日 事務局会議	3月3日 山形新聞社 寄付金贈呈式
ボランティアリーダー会	9日 自殺対策懇談会(山形県)
27日 運営会議	10日 ボランティアリーダー会
9月4日 広報委員会	10~17日 自殺予防いのちの電話(168時間)
6日 相談委員会	24日 事務局会議
7日 いのちの電話シンポジウム(島根)	26日 理事会
11日 自殺対策推進会議(山形県)	29日 公開講座(森川すいめい氏)
20日 LL学習会	4月4日 相談委員会
27日 東北四県生きる支援フォーラムinやまがた(岩手)	7日 内部監査
10月7日 事務局局長会議(連盟)	評議員選任・解任委員会
8日 運営会議	8日 研修委員会
山形ネットワーク協議会(山形県)	9日 運営会議
10日 自殺予防いのちの電話	10日 自殺予防いのちの電話
17日 精神保健功労賞(作田賞)授賞式	14日 理事会
21日 研修委員会	16日 ボランティアリーダー会
28日 ボランティアリーダー会	18日 28期相談員養成講座 開講式
30日 事務局会議	27日 事務局会議
31日 広報委員会	5月7日 広報委員会
11月9日 相談委員会総会	チャリティーコンサート実行委員会
広報委員会	9~10日 相談委員会宿泊研修会
19日 保健文化賞授賞式	10日 自殺予防いのちの電話
29日 電話相談学会	12日 評議員会・理事会
12月2日 研修委員会	20日 運営会議
6日 全体研修	26日 ボランティアリーダー会
10日 自殺予防いのちの電話	30日 庄内分室大掃除

役員名簿

2026年5月現在

理事(14名)

長谷川憲治(理事長)
本間 弘(後援会会長)
内藤 和暁
東谷 慶昭
青塚 晃
鞠子 克己
和田 由紀
伊藤 和子
永澤 孝
小野 葉子
後藤 茂
菅原 和夫
小野みどり
伊藤 利彦
(常務理事兼事務局長)

監事(2名)

伊藤 吉明
大沼 俊彦

第三者委員(3名)

大御 均
峯田 典明
結城 章夫

評議員(18名)

三浦孝太郎
井上 弓子
千歳 毅
遠藤 靖彦
沼野 慈
大浦 正人
久松 玄徳
小澤 一仁
岡 摂也
小野 宏哉
酒井 彰
鈴木 隆一
片桐 弥生
植木 憲司
山本 孝根
金田由利子
石川貴代子
竹川 敏雄

評議員選任・解任外部委員(2名)

市村 克朗
島貫 新平

顧問(1名)

境澤栄美子

第19回

山形いのちの電話チャリティーコンサート

こころ奏でるハーモニー

2026年
9月26日(土)

遊学館ホール

開演14:00(開場13:30)

全席自由3,000円

絵画提供

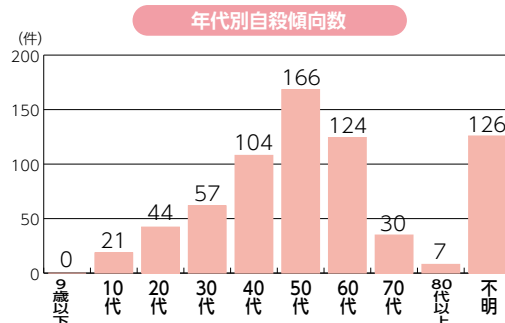
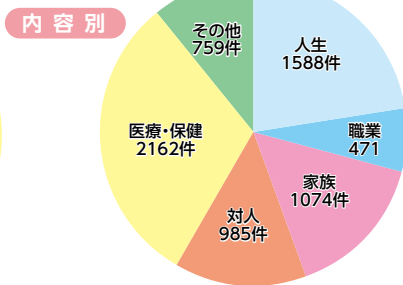
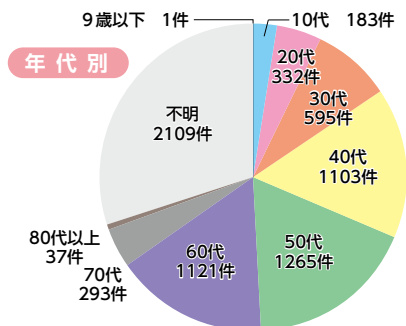
三浦孝太郎

～旅のスケッチから～

お問い合わせは事務局まで

2025年1～12月の受信統計

総件数 7,039件 うち自殺傾向件数 679件



鶴岡市分室日誌

こんにちは庄内分室です。庄内分室では日頃の相談活動に加えて、意見交換会やランチ会、大掃除などを実施しています。これらの活動は、相談活動の時間ではできない、相談員の戸惑いや悩みを伝え合ってモチベーションを高める得難い機会ともなっていて、参加率は高く、相談活動への支えとなっていることがうかがえます。

これからも、相談員同士の支え合いや相談活動の充実に繋がる機会として大切に、継続していきたいです。(T)

資金ボランティアのお願い

山形いのちの電話の運営費は、主として皆様の善意による寄付金で支えられています。

あなたも後援会員になって、この活動を支えてくださいませんか？

●維持会員(年額:何口でも可)

個人会員:ひと口 @1,000円～
団体会員:ひと口 @10,000円～

●賛助会員

金額は特に定めず、随時ご寄付いただける方です。

・送金先 郵便振替口座 02460-2-21250

・名義先 社会福祉法人 山形いのちの電話

寄付金は免税扱いを受けることができます。

編集後記

広報誌73号をお届けします。

5月、7年ぶりに相談員の宿泊研修が行われ、有意義な時間そして一緒に活動する皆さんとのコミュニケーションをとることができました。普段の活動のときとは違う感覚であり、とても楽しい時間となりました。主催者の皆さん、本当にありがとうございました。(K)

社会福祉法人 山形いのちの電話

事務局 〒990-8691 山形中央郵便局私書箱第99号

電話/023-645-4377(事務用) FAX/023-645-7795

発行人/長谷川憲治 編集/広報委員会



この広報誌は、赤い羽根共同募金の配分金で発行しています